



バルーンアート



令和4年度親子の集いのカンバン



かさ袋ロケット



カローリング



ボールボードゲーム

地域みんなで子育てを **あつまれ!**「親子の集い」 親子で楽しく遊みましょう

残暑まだまだきびしく、台風14号が近づくと9月17日(土)、午前10時～11時30分、伊賀市民体育館において東部地区民生委員児童委員協議会主催で東部地区内にお住まいの小学3年生以下とその家族を対象に、新型コロナウイルスの影響で中断していた「親子の集い」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍の中でしたが、参加者は54名でした。

みんなで楽しく遊びながら、仲間づくりや情報交換を行い、地域の方向士が顔見知りになり「交流の場」となる目的で2014年から毎年開催してきました。

主催した29人のメンバーはイベント当日まで、コロナ禍で暗い顔を笑顔にしたい、今年こそは皆で遊べる機会や場所をつくりたいと準備を重ねてきました。

会場は、「フラフープ」、「カローリング」、「輪なげ」、「バルーンアート」、「ボールボードゲーム」、「かさ袋ロ

ケット」、「お菓子コーナー」を廻って楽しみました。

コーナーの中でも、かさ袋をつかったロケット風船をつくるコーナーが人気で、自分でシールをはったり、絵をかいたりして、ロケットをつくり、完成するとロケットがどこまで飛ぶかを競う等、親子で楽しむ姿が見られました。

また伊賀市保健師による、乳幼児の相談コーナーも設けられました。

参加した5才の女の子のお子様連れのお母さんは「コロナ禍になっておもいきり遊べる機会が減った。近場でこのようなイベントがあってよかったし、とても楽しかった。」と話していました。

この日は多くの親子連れが参加し、趣向を凝らしたコーナーを楽しみながら交流を深めていました。

(取材：縄手 稔)

2022

東部地域住民自治協議会自主防災訓練

毎年恒例の東部地域住民自治協議会自主防災訓練が防災防犯交通安全部会主催で10月15日(土)～10月16日(日)に東部地区市民センターにて開催されました。

今年は2日間にわたり、実際の避難に近い状況を経験するため避難宿泊から始まり、翌日は各自治会の会長等が参加した防災訓練が実施されました。



段ボールベッドを作成、寝心地を確認



避難宿泊を体験、宿泊は部員9名(女性2名含む)が体験した。



懐中電灯とペットボトルで簡単なランタン作成



車中泊の一例でプリウスαにアマゾンで購入したエアマットを敷いた場合

簡易トイレの一例



簡易トイレの完成品!



足のケガを防止するため、新聞紙で草履を作成

村田部会長よりひとこと

カップ麺、アルファ米はお湯だけではなく、水で食べることができます。水では、カップ麺は約15分、アルファ米は約60分でできます。水のほうが濃い味に感じます。避難時はお湯を手に入れることが難しいこともありますので、有効です。

10月16日(日)には伊賀市消防署署長、東部地域住民自治協議会会長の挨拶があり、各自治会会長等が1.水消火器での当てゲーム 2.ジャッキアップで救助 3.毛布、Tシャツで簡易担架で救助運搬 4.消火栓とホース取扱い講習 5.水を運ぶ方法色々 6.避難時の救急持ち出し品クイズ をして、避難時に必要なことを体験しました。

防災防犯交通安全部会が毎年、新しい訓練を企画し継続実施することで、いつ起こるかかわからない災害に対してこのような活動をしていただいています。このことはいつもありがたく感謝を感じます。

防災部会の活動をいかすためにも、各自治会及び各住民も一人一人災害を意識して少しずつでも備えをしていて欲しいと思います。災害には備えしかありません。部会会員のみなさまお疲れさまでした。

(取材：山本 史規)

2022 東部地域スポーツ大会開催

毎年恒例の東部地域スポーツ大会が9月24日(土)～9月25日(日)に開催されました。例年は3月に行われていましたが、決算等忙しいため、9月に開催されることになりました。日程は9月24日(土)午前9時より上野東小学校体育館で「ポッチャ」、9月25日(日)しらさぎドームで、午前9時より「ゲートボール」、午後1時より「グラウンドゴルフ」が開催されました。両日とも台風一過で秋空の晴天に恵まれ、参加者はそれぞれのスポーツを楽しみました。

ポッチャ



審判が近いかどうか判定しているところ

24日のポッチャの参加者は教育文化スポーツ部会の部員6名と一般参加者4名で、新しいスポーツを経験しました。このスポーツはあまり知られていませんので、簡単なルールを説明します。

【ルールの説明】

「赤玉と青玉のチームに別れ白玉(ジャックボール)めがけて投げ、白玉に近いチームが勝ち」という球技です。カーリングのルールによく似た球技です。相手チームの玉を飛ばしたり、白玉を飛ばしたりして戦況が刻々と変わる面白い球技です。

ゲートボール



ゲートボールの開会式。3チームに編成で、さあ、試合開始です。

グラウンドゴルフ



グラウンドゴルフの大会模様。参加者62名、スポーツ部会役員8名で楽しみました。

〈取材：山本 史規〉

生徒さんの達成感に喜び

アトリエ キャンディ

緑ヶ丘本町 國井文子様



どのような作品がありますか？

トールペイント（木製品に絵具を塗る手芸）、パッチワークのカバンやタペストリー（壁掛け布）などを作っています。

楽しみは？

生徒約30名（50代～80代）の作品を見て、生徒さんの達成した姿をみて喜ぶことです。



■ 名前の由来は？

当時飼っていた犬の名前からとりました。

■ きっかけは？

母の介護で在宅でできることとして、手芸を始めました。その後、手芸店でアルバイトをしていましたが、大阪へ通って資格を取り、自宅や東部地区市民センターで教室を始めました。



■ 難しいことは？

今の流行を取り入れて、生徒さんのいろいろな要望に応えることです。

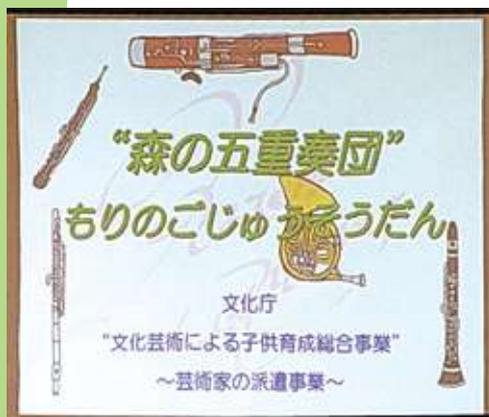
■ 今後の夢は？

全国規模のコンテストやイベントで、私の作品を多くの人に知ってもらいたいことです。

（取材：安場 豊）

“森の五重奏団”演奏会

上野東小学校 4年生・5年生



令和4年9月6日、7日、昨年に引き続き『森の五重奏団』5名による演奏会が上野東小学校の音楽室で開催されました。今回は、4年生と5年生の子どもたちが参加しました。この演奏会は文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業 芸術家の派遣事業」の一環で行われています。

『森の五重奏団』は木管楽器の「フルート」「オーボエ」「ホルン」「ファゴット」「クラリネット」で構成され、子どもたちは普段あまり見ることもない楽器やその音色に興味津々です。

まず初めに5つの楽器の紹介があり、それぞれの特徴や、実際に音色を聴きながら、高い音、低い音、やさしい音や吹き方などを教えていただきました。

次に、子どもたち全員が「ハンドベル」に挑戦！ 扱い方を教わった後、2つのチームに分かれて相手の音を聴いて合わせながら演奏しました。みんなでするのは一体感もあり、段々と上手になって子どもたちも楽しそうでした。(^^)

その後は、アニメーション「つみきのいえ」の映像にあわせた演奏、そして、アンコールでは「カントリーロード」を聴きました。やっぱり目の前の楽器の演奏はいいですね。子どもたちもリズムをとったりして音楽にふれあえる、あっという間の楽しい45分間でした。

これを機会に楽器に挑戦する子どもたちもいるかもしれませんね。



〈取材：中道 弘恵〉

伊賀線全線開通100周年イベント開催



広小路駅の
東部地域住民自治協議会
が設置した花壇

広小路駅に
設置された花壇の様子



上野市駅で記念式典
7月18日(月・祝)

広小路駅に
設置された花壇は乗降客を
なごませていました



全線開通100周年
記念列車が
伊賀神戸に向けて発車
7月18日(月・祝)

記念列車の出発式が
上野市駅で開催
7月18日(月・祝)



伊賀鉄道伊賀線全線(伊賀上野～名張)が開通して今年でちょうど100年目の節目の年を迎えます。

全線開通100周年イベントが令和4年7月17日(日)、記念式典が7月18日(月・祝)に開催されました。

記念式典では、上野市駅(忍者市駅)で岡本栄市長等来賓者の挨拶の後、全線開通記念列車(1日限定の記念ヘッドマーク付き)が運行され、11時09分発伊賀神戸行き列車の出発式テープカットが行われました。

列車は、広小路駅へと出発し、この駅のホームには東部地域住民自治協議会からこの事業の協賛として、

花壇が設置されこの駅の乗降客を和ませていました。

この花壇は6月24日(金)に東部地域住民自治協議会の役員等によって、伊賀線100周年記念事業に花をそえる為、またこの駅を乗降するお客様におもてなしの気持ちを伝える為に設置され、役員等が交代で毎日花壇の水やり等のお世話をしています。

この100周年を機に、あと100年更に100年と鉄道が存在するように、地域みんなで大切にしていきたいと考えます。

〈取材：縄手 稔〉

編集後記

3年ぶりに上野天神祭が開催されました。神輿行列、鬼行列、だんじり行列、やっぱりお祭りはいいですね。鬼をみて泣いている子どもたちや、豪華絢爛なだんじりにカメラを構える人たちなど、町中は本当にたくさんの方で賑わっていました。久しぶりに会う友人との会話も弾みました。

地域の様々なイベントやお祭りも開催されるようになり、やはり地域の皆様との交流や伝統の継承は大切だと感じました。新型コロナの早期終息と世界平和を祈りつつ、来年はさらに活気ある日々でありますように。

(中道 弘恵)